

平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーネックス  
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄  
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	2,666	6.4	134	△3.1	135	△6.5	58	△27.1
28年6月期第2四半期	2,507	△4.4	138	△24.8	144	△23.8	79	△33.0

(注)包括利益 29年6月期第2四半期 104百万円 (50.6%) 28年6月期第2四半期 69百万円 (△52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	3.51	—
28年6月期第2四半期	4.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第2四半期	10,130	5,228	51.6	315.68
28年6月期	9,152	5,157	56.3	311.37

(参考)自己資本 29年6月期第2四半期 5,228百万円 28年6月期 5,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,390	4.7	20	—	30	—	△60	—	△3.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期2Q	16,600,000 株	28年6月期	16,600,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期2Q	37,003 株	28年6月期	37,003 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期2Q	16,562,997 株	28年6月期2Q	16,563,725 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用所得環境の改善が続く中で景気の緩やかな回復基調が続きました。一方で原油安の不服感や円安の進行によるエネルギー価格の上昇があり、企業収益の改善にも一部で足踏みがみられました。海外では中国を始めとするアジア新興国等の景気減速や英国のEU離脱問題の影響及び米国大統領選挙以降の動向により、為替・金融資本市場の変動リスクが大きくなっており、先行き不透明感が増加しています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械関連受注は引き続き低調、産業工作機械関連受注は横ばいで推移したものの、自動車部品関連受注が好調に推移しました。また、㈱オーネックステックセンターの売上増加により、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。経費面では、ガス・電力費等の製造コストが低下し、経費の削減に努めたものの、㈱オーネックステックセンターは売上に対し、工場消耗品や減価償却費等の経費負担が大きく営業赤字を計上したため、前年同四半期連結累計期間と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,666百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益は134百万円（同3.1%減）、経常利益は135百万円（同6.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58百万円（同27.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、主力取引業界である自動車関連需要の受注は好調に推移し、産業工作機械関連需要の受注は横ばい、建設機械関連需要の受注は世界経済の減速等により減少しました。また、㈱オーネックステックセンターの売上増加により、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。

一方でガス、電気料金が低下し、生産性の向上及び人件費、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めたため、㈱オーネックスは前年同四半期と比較して営業利益は増益でしたが、㈱オーネックステックセンターが営業赤字を計上しているため、セグメント利益は減益となりました

これらの結果、売上高は2,367百万円（前年同四半期比6.6%増）、セグメント利益は99百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

#### ②運送事業

運送事業につきましては、三重営業所の開設に伴う売上増加、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、軽油価格の低下、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は298百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益は17百万円（前年同四半期比23.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して977百万円増加し、10,130百万円となりました。これは主に現金及び預金が966百万円増加したことなどによるものです。

##### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して906百万円増加し、4,901百万円となりました。これは主に長期借入金が965百万円増加したことなどによるものです。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して72百万円増加し、5,228百万円となりました。これは主に、利益剰余金が24百万円、その他有価証券評価差額金が46百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比較し966百万円増加し2,310百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は342百万円（前年同四半期は127百万円）となりました。これは主に法人税等の支払額67百万円があったものの税金等調整前四半期純利益144百万円、減価償却費270百万円などを計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は235百万円（前年同四半期は1,247百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得に232百万円の支払いを行ったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は859百万円（前年同四半期は753百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済259百万円などの支出があったものの、長期借入による収入1,225百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年8月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,354,423	2,320,682
受取手形及び売掛金	1,354,674	※ 1,253,626
電子記録債権	410,516	538,987
製品	10,580	14,696
仕掛品	38,842	24,917
原材料及び貯蔵品	80,341	79,183
繰延税金資産	14,508	15,696
その他	234,027	102,157
流動資産合計	3,497,915	4,349,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,387,092	1,351,892
機械装置及び運搬具(純額)	1,083,748	1,093,180
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	141,993	128,378
建設仮勘定	11,678	41,623
その他(純額)	149,874	251,341
有形固定資産合計	5,050,237	5,142,268
無形固定資産	66,053	50,848
投資その他の資産		
投資有価証券	201,057	269,997
繰延税金資産	210,333	190,762
その他	119,659	120,053
投資その他の資産合計	531,050	580,813
固定資産合計	5,647,340	5,773,930
繰延資産	7,301	6,438
資産合計	9,152,557	10,130,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	157,985	※ 164,012
電子記録債務	190,308	165,297
短期借入金	448,567	599,791
1年内償還予定の社債	65,000	55,000
未払金	181,647	194,554
未払費用	245,748	257,484
未払法人税等	76,513	101,229
賞与引当金	19,621	19,749
その他	250,782	※ 198,547
流動負債合計	1,636,175	1,755,666
固定負債		
社債	102,500	75,000
長期借入金	1,373,438	2,187,873
退職給付に係る負債	721,403	730,499
その他	161,895	152,612
固定負債合計	2,359,236	3,145,984
負債合計	3,995,411	4,901,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,537,067	3,562,029
自己株式	△5,453	△5,453
株主資本合計	5,123,408	5,148,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,737	80,295
その他の包括利益累計額合計	33,737	80,295
純資産合計	5,157,145	5,228,666
負債純資産合計	9,152,557	10,130,317

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,507,131	2,666,471
売上原価	1,831,194	2,009,093
売上総利益	675,937	657,377
販売費及び一般管理費	※ 537,673	※ 523,343
営業利益	138,263	134,034
営業外収益		
受取利息	1,780	1,444
受取配当金	2,428	2,867
受取賃貸料	6,787	2,876
スクラップ収入	3,719	2,094
その他	5,122	6,377
営業外収益合計	19,837	15,660
営業外費用		
支払利息	9,484	9,936
支払手数料	3,581	3,422
その他	130	864
営業外費用合計	13,196	14,223
経常利益	144,905	135,470
特別利益		
固定資産売却益	5,627	8,801
保険差益	4,564	—
特別利益合計	10,192	8,801
特別損失		
固定資産除却損	573	106
特別損失合計	573	106
税金等調整前四半期純利益	154,524	144,166
法人税、住民税及び事業税	68,631	87,628
法人税等調整額	6,178	△1,550
法人税等合計	74,810	86,077
四半期純利益	79,713	58,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	79,713	58,088



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	79,713	58,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,213	46,558
その他の包括利益合計	△10,213	46,558
四半期包括利益	69,500	104,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,500	104,646
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	154,524	144,166
減価償却費	188,896	270,961
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,498	9,096
賞与引当金の増減額(△は減少)	438	128
受取利息及び受取配当金	△4,209	△4,312
支払利息	9,484	9,936
固定資産除却損	573	106
売上債権の増減額(△は増加)	73,166	△27,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,439	10,966
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,234	△18,983
未払消費税等の増減額(△は減少)	△59,868	22,588
その他	△100,327	△2,006
小計	230,386	415,225
利息及び配当金の受取額	4,209	4,312
利息の支払額	△9,850	△9,557
法人税等の支払額	△97,151	△67,487
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,593	342,492
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,225,820	△232,670
無形固定資産の取得による支出	△15,532	△6,449
投資有価証券の取得による支出	△2,163	△2,448
その他	△4,452	5,651
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,247,969	△235,918
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,112,930	1,225,000
長期借入金の返済による支出	△183,381	△259,341
社債の償還による支出	△110,500	△37,500
リース債務の返済による支出	△32,638	△35,523
配当金の支払額	△32,972	△32,952
その他	△89	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	753,348	859,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△367,027	966,258
現金及び現金同等物の期首残高	1,973,073	1,344,423
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,606,046	※ 2,310,682

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,221,193	285,937	2,507,131	—	2,507,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	128,831	128,831	△128,831	—
計	2,221,193	414,769	2,635,962	△128,831	2,507,131
セグメント利益	101,750	22,221	123,971	14,292	138,263

(注) 1. セグメント利益の調整額14,292千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,367,936	298,535	2,666,471	—	2,666,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	136,845	136,845	△136,845	—
計	2,367,936	435,380	2,803,316	△136,845	2,666,471
セグメント利益	99,703	17,113	116,816	17,217	134,034

(注) 1. セグメント利益の調整額17,217千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。